令和4年度　事業報告書

部署名	法人本部	記載責任者	佐伯　恵子

①法人行事

R4.4.15	新入職員決意表明式・辞令交付式	R4.10.4	地域交流スペースカフェ・ド・ミュール・ブラン
R4.5.11	消防訓練	R4.10.7	理事会
R4.6.9	理事会	R4.10.20	消防訓練
R4.6.23	定時評議委員会	R4.12.8	理事会
R4.6.27	インドネシア技能実習生受入	R4.12.28	仕事納め式
R4.9.27	理事会	R5.1.4	仕事始め式（賀茂神社）
		R5.3.23	理事会
		R5.3.27	新入職員入校式

②運営活動報告

		【施設内研修】	担当委員会
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	4月	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング	感染対策・褥瘡対策
	5月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前	感染対策・褥瘡対策
	6月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後	感染対策・褥瘡対策
	7月	身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング）	人権尊重・事故防止 サービスの質の向上
	8月	感染拡大防止のため実施せず	
	9月		
	10月		
	11月	クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング）	接遇改善・職員育成 コンプライアンス
	12月	褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策 人権尊重・事故防止・サービスの質向上
	1月	虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	人権尊重・事故防止・サービスの質向上 接遇改善・職員育成
	2月	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策
	3月	ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	コンプライアンス
		【施設外研修】	
	R4.7.14.15	HMSエリート養成講座（第1回）	
	R4.8.18.19	HMSエリート養成講座（第2回）	
	R4.9.15.16	HMSエリート養成講座（第3回）	
	R4.10.13.14	HMSエリート養成講座（第4回）	
	R4.11.17.18	HMSエリート養成講座（第5回）	
	R4.11.21	若手異業種交流会withSDGs	
	R4.11.26	第19回山口県ケアマネジメント研究大会	
	R4.12.15	HMS研修「事業計画の基礎を学ぶ」「自法人の事業計画を策定する」	
経費削減取組	物品の仕入単価の見直しを行い、仕入れ先をより安価なところへ変更した。 各事業所への回覧など印刷物なくし、共有フォルダで管理することによりペーパーレス化を行った。 必要のない場所の電気は消し、省エネに努めた。		
その他	災害・備蓄・実習生・ボランティア（別紙のとおり） 求人・採用関係実施状況（別紙のとおり）		

安全対策（防災訓練）

・本部

【火災訓練】

<第１回>

1 目的

夜間における火災を想定した消防訓練を実施し、夜勤帯の職員に対し、火災発生時の初期対応、通報要領及び入所者の適切な避難誘導要領について訓練するとともに緊急時の対応について再確認する。

2 日時

第１回 令和４年５月 11 日（水） 13:00～14:50

3 訓練実施場所

(1)介護老人保健施設ｹｱｾﾝﾀｰゆうわ

(2)ｹｱﾊｳｽゆうわ苑

(3)ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑゆうわ苑

(4)小規模多機能型居宅介護ﾄｰﾀﾙｹｱゆうわ

(5)住宅型有料老人ﾎｰﾑﾏ･ﾒｿﾞﾝ

4 火災発生場所

(1)介護老人保健施設ｹｱｾﾝﾀｰゆうわ１階ﾘﾈﾝ庫倉庫

(2)ｹｱﾊｳｽゆうわ苑１階ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ

5 火災発生時の対応

(1)火災通報装置により消防署への通報

(2)入所者の避難誘導、避難場所、応援体制の確認

(3)消防隊到着時の報告要領

6 初期消火と避難誘導要領

(1)火災発生場所に急行し、速やかに消火器で消火する。（実際には噴射しない）

(2)老健２階.３階.４階避難誘導

・介護老人保健施設勤務者は、入所者様を各階食堂及び 3 階に誘導するとともに他部署勤務者の応援を依頼する。

・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑゆうわ苑・ﾄｰﾀﾙｹｱゆうわは、それぞれの部署において入所者様の避難誘導を行い、安全を確保する。
・避難誘導後、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ勤務者は老健２階の避難誘導の応援に駆け付ける。

(3)ｹｱﾊｳｽ避難誘導
・ｹｱﾊｳｽ勤務者は、入居者をﾍﾞﾗﾝﾀﾞ又は非常階段へ誘導する。
・有料老人ﾎｰﾑﾏ・ﾒｿﾞﾝ勤務者は、入居者を各非常階段へ集め避難準備をする。
・老健２階勤務者は、避難誘導の応援に駆け付ける。
・消防車到着後、入所者の確認と状況を把握し消防署員へ避難状況、けが人の有無等状況を報告する。

<第２回>

1 目的

日中における火災を想定した消防訓練を実施し、日勤帯の職員に対し火災発生時の初期対応、入所者の適切な避難誘導要領について訓練するとともに緊急時の対応について再確認する。

2 日時

令和４年10月20日(木)　13:00~14:40

3 訓練実施場所

(1)介護老人保健施設ｹｱｾﾝﾀｰゆうわ
(2)ｹｱﾊｳｽゆうわ苑
(3)ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑゆうわ苑
(4)小規模多機能型居宅介護ﾄｰﾀﾙｹｱゆうわ
(5)住宅型有料老人ﾎｰﾑﾏ・ﾒｿﾞﾝ

4　火災発生場所

(1)介護老人保健施設ｹｱｾﾝﾀｰゆうわ３階
(2)ｹｱﾊｳｽゆうわ苑１階食堂

5 火災発生時の対応

(1)入所者の避難誘導、避難場所、応援体制の確認
(2)消防署到着時の報告要領

6 初期消火と避難誘導要領

(1)火災発生場所に急行し、速やかに消火器で消火する。(実際には噴射しない)

(2) 老健 3 階、2 階、1 階避難誘導
・介護老人保健施設勤務者は、入所者様を各階食堂、食堂側ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ、及び 2 階正面玄関口に誘導するとともに他部署勤務者の応援を依頼する。
・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑゆうわ苑・ﾄｰﾀﾙｹｱゆうわは、それぞれの部署において入所者様の避難誘導を行い、安全を確保する。
・避難誘導後、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ勤務者は老健 1 階の避難誘導の応援に駆け付ける。
(3) ｹｱﾊｳｽ避難誘導
・ｹｱﾊｳｽ勤務者は、入居者を非常階段へ誘導する。
・有料老人ﾎｰﾑﾏ・ﾒｿﾞﾝ勤務者は、入居者を各非常階段へ集め避難準備をする。
・老健 2 階の避難誘導の応援に駆け付ける。
(4) 消防車到着後、入所者の確認と状況を把握し消防署員へ避難状況、けが人の有無等状況を報告する。

消防訓練細部指導要領

1 訓練実施の予告
訓練実施前に苑内放送により事前に連絡する（事務局職員）
苑内放送は、2 回繰り返し放送する

2 火災発生の表示（13:30~14:40 予定）
訓練想定現場：現場にて表示
表示方法：口頭で指示

3 発見者通報措置
発見者は大声で連呼する
訓練火災発生！訓練火災発生！場所 介護老人保健施設ｹｱｾﾝﾀｰゆうわ 3 階
ｹｱﾊｳｽゆうわ苑 1 階食堂
発見者（職員）は現場に急行し、速やかに消火器を使用し消火活動を開始する。
（消火器は噴射せず）

4 避難誘導
職員の指示で避難場所に誘導する。
(1) 自力困難な入所者は、職員が背負って避難場所に誘導、車椅子で誘導できる者は職員が避難場所に誘導する。
(2) 老健・ｹｱﾊｳｽ対象者は職員により指定された場所に避難誘導する。
(3) 避難経路については職員の誘導により避難する。老健 1 階はｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ及び老健地下 1 階ﾃﾞｲｹｱ玄関側、老健 2 階は玄関から外へ、3 階はｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ及び 2 階

玄関からとする。ｹｱﾊｳｽは各階非常階段とする。

(4) 消防車到着後、人員点呼をとり、人員確認、けが人の有無等を消防署員へ報告し訓練終了とする。

【地震・風水害】

令和 4 年 12 月 7 日(木)

災害時(地震・風水害)の心得について学習

【土砂災害訓練】

<ｹｱｾﾝﾀｰゆうわ>

①　実施日時

・令和 4 年 5 月 31 日(金)13 時 50 分~15 時 20 分

②　課題

土砂災害警戒情報や避難指示発令が予測されることを見極め、避難準備や受け入れを出来るように、訓練の定期的な実施を取り組んでいけるよう尽力する

<小規模多機能居宅介護ﾄｰﾀﾙｹｱゆうわ>及び

<ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑゆうわ>

①　実施日時

・令和 4 年 5 月 31 日(金)14 時 10 分~14 時 25 分

②　課題

特になし

<ゆうわ苑ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ>

①　実施日時

・令和 4 年 5 月 31 日(金)13 時 50 分~15 時 05 分

②　課題

避難経路の確認と情報を正確に伝達するよう今回の訓練で確認した。今回は一部の職員と一部の利用者様の訓練参加だった為、実際に災害が起きた際を想定し日頃からｋういろ確認や誘導についても今一度確認する必要があった。

〈ｹｱﾊｳｽ〉

①　実施日時

・令和 4 年 5 月 31 日(金)13 時 50 分~14 時 30 分

②　課題

火災の場合、津波の場合、土砂災害の場合の避難場所及び避難経路がそれぞれ異なる事を周知徹底出来ておらず、都度指示待ちの状態が発生していた為、職員個々の自主性及び積極性が欠落していた。ミーティング開催により改善を目指す。

③　結果

2F にいる利用者の避難誘導、居室の安否確認、状況報告までｽﾑｰｽﾞに行えたと思う。
全ての利用者様が居室・または 3Fﾃﾞｲﾙｰﾑにいるのが確認できた。
災害に対する意識を高め、土砂・津波に関する災害の避難は、3 階またはそれ以上の階へ迅速に誘導できるように流れをしっかりと覚えておく事で、災害に備えていきたい。

・土穂石

【火災訓練】

〈第 1 回〉

令和 4 年 5 月 18 日(水)

夜間の火災を想定した訓練を実施　夜勤勤務者が初動対処できるかを確認する。火災受信基盤の見方、ﾍﾙﾒｯﾄ、懐中電灯、消火器、消火栓の保管場所の確認と使用の仕方を再確認。

〈第 2 回〉

令和 4 年 10 月 27 日(木)

昼間の火災を想定した訓練を実施　日勤帯の職員に対し火災発生時の初期対応、入所者の適切な避難誘導要領について訓練するとともに、緊急時の対応や火災受信基盤の見 方、ﾍﾙﾒｯﾄ、懐中電灯、消火器、消火栓の保管場所の確認と使用の仕方を再確認

・シンシア

【火災訓練】

〈第 1 回〉

令和４年６月１４日（火）

夜間の火災を想定した訓練を実施。3 階「せせらぎ」において、共同生活室のテレビからの漏電出火を想定　夜勤勤務者が一人になった時に対応できるかを確認する。火災受信基盤の見方、ヘルメット、懐中電灯、消火器、消火栓の保管場所の確認と使用の仕方を再確認する。
夜間警備員が救助に来なかった場合を想定して職員による通報訓練車椅子使用の方や寝たきりの方の避難方法について学ぶ。
水消火器を使用し初期消火訓練を実施。

〈第 2 回〉
令和４年１２月８日（木）
夜間の火災を想定した訓練を実施　2 階やまなみから出火　火災受信基盤の見方、ヘルメット、懐中電灯、消火器、消火栓の保管場所の確認する。
夜間警備員が救助に来なかった場合を想定して職員による通報訓練車椅子使用の方や寝たきりの方の避難方法について学ぶ。
水消火器を使用し初期消火訓練を実施。
ＤＳは火災による避難訓練と土砂災害における上階への避難訓練を行う。

【地震・風水害】

令和４年１２月８日（木）
災害時（地震・風水害）の心得について学習

【土砂災害訓練】

１　目的
大雨時の土砂災害警戒情報発令を想定した避難訓練を実施し、速やかな災害対策本部の指示にしたがって入所者の適切な避難誘導について訓練する。
２　訓練日：令和４年５月３１日（火）本部の訓練と同時に開催。
３　訓練実施事業所
シンシアゆうわデイサービス
４　災害発生場所：シンシアゆうわ山側斜面

非常食の備蓄

非常食リスト

本部 215 名 3 日分

品名	備蓄量
マジックライス（白飯）	50 食×3 ケース
マッジクライス（粥）	
精製水	2L×372 本（62 ケース）
精白米	100Kg
ミキサー食用の非常食	おかず 5 種・おかゆ入り
炊き込みわかめ	300g
ふりかけ	5 袋（50 個入り）
のり佃煮	5 箱(40 個入り)
めかぶ佃煮	5 箱(40 個入り)
たい味噌	5 箱(40 個入り)
うめ佃煮	5 箱(40 個入り)
菜めし	3 袋（200g）
わかめ	200ｇ
ゆかり	200ｇ
ビーフカレーレトルトパック	250 食
フルーツミックス缶　１号缶	6 缶
黄桃缶　1 号　パウチ	4 缶
洋梨缶　1 号　パウチ	2 缶
みかん缶　１号　パウチ	6 缶
パイン缶　1 号　パウチ	2 缶
りんご缶　1 号缶　パウチ	2kｇ
マヨネーズ	6 本
濃口醤油	6 本
薄口醤油	6 本
砂糖	20kg
とろみ剤	10ｋｇ
ゲル化剤	2 袋
塩	10kg

味噌	20kg
ケチャップ	6 本
みりん	6 本
サラダ油	6 本
ツナ　パウチ（1ｋｇ）	4 袋
その他備蓄品	
栄養補助食ゼリー	60 個
〃　　ドリンク	60 個
割り箸	2000 本
使い捨てスプーン	4000 本
紙コップ	4000 個
ポリエチレン容器　大	4000 個
ポリエチレン容器　小	2000 個
カセットコンロ	10 個
カセットボンベ	20 本
ゴミ袋　45L	200 枚
ゴミ袋　90L	200 枚
使い捨て手袋（M）	500 枚
アルコール	10 本
サニタイザー	5 本
ペーパータオル	50 個
サランラップ（大・中・小）	各 30 本
ダスター	５０枚
次亜塩素酸	5 本
中性洗剤	2 本

非常食リスト

シンシア 55 名 3 日分

	必要量
マジックライス（白飯）	50 食×2 ケース
マッジクライス（粥）	50 食×1 ケース
精製水	2L*247 本（41 ケース）
精白米	20Kg
炊き込みわかめ	1 袋（300g）

ふりかけ	1袋（50食入り）
のり佃煮	1箱(40個入り)
ミキサー食用おかず	10名分
ビーフカレーレトルトパック	3kg×6袋
フルーツミックス缶　１号缶	2缶
黄桃缶　1号缶	2缶
りんご缶　２号缶	1缶
洋梨缶　1号缶	1缶
みかん缶　１号缶	3缶
パイン缶　1号缶	1缶
切干大根	1kg
干しシイタケ	1ｋｇ
乾燥ひじき	1kg
ツナ缶（1.7ｋｇ）	2缶
コーン缶（1.8ｋｇ）	1缶
その他備蓄品	
	必要量
栄養補助食ゼリー	20個
〃　　ドリンク	20個
とろみ剤	2ｋ
醤油　1.8L	5本
砂糖	5ｋ
酒　1.8L	3本
酢　1.8L	3本
みりん　1.8L	3本
サラダ油　1.4L	1本
塩	1ｋ
味噌	8ｋ
マヨネーズ	2ｋ
ケチャップ	2ｋ
割り箸	500本
紙コップ	500本
ゴミ袋　45L	100枚
ゴミ袋　90L	100枚
使い捨て手袋	1000枚

アルコール	2 本
サニタイザー	2 本
ペーパータオル	10 個
サランラップ（大）	2 本
ダスター	50 枚
中性洗剤	1 本
カセットコンロ	3 台
ガスボンベ	15 本

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ受け入れ

・本部　　新型コロナウィルス感染拡大防止のため実績なし
・ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ　　新型コロナウィルス感染拡大防止のため実績なし
・ｼﾝｼｱ　　新型コロナウィルス感染拡大防止のため実績なし

実習生受入

・本部　　広島医療保健専門学校　学生
令和 4 年 4 月 12 日～令和 4 年 5 月 27 日 理学療法実習
広島都市学園大学　学生
令和 4 年 8 月 30 日～令和 4 年 9 月 4 日　理学療法実習
広島都市学園大学　学生
令和 5 年 1 月 10 日～令和 5 年 3 月 10 日　理学療法実習
広島医療保健専門学校　学生
令和 5 年 3 月 6 日～令和 5 年 3 月 10 日　理学療法実習
・ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ　　１月～３月　障害者現場実習実施
・ｼﾝｼｱ　　新型コロナウィルス感染拡大防止のため実績なし

施設見学の受入

・本部　　新型コロナウィルス感染拡大防止のため実績なし
・ｼﾝｼｱ　　新型コロナウィルス感染拡大防止のため実績なし

地域における公益的な取組

１．地域の要支援者に対する相談支援

・ゆうわ総合在宅サポートセンター

総合相談窓口　　利用人数 19 名

２．地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援

・本部

配食サービス　のべ　昼食　381 食　夕食　528 食　利用

３．既存事業の利用料の減免・免除

・介護老人保健施設ケアセンターゆうわ利用者負担軽減制度

人数：17 名利用

日数：のべ　3177 日

金額：3,736,223 円

４．地域の福祉ニーズを把握するためのサロン活動

・ゆうわ総合在宅サポートセンター

令和 4 年 10 月 26 日　おれんじカフェ開催（13：30～15：00）

令和 4 年 12 月 15 日　おれんじカフェ開催（13：30～15：00）

令和 5 年 1 月 25 日　おれんじカフェ開催（13：30～15：00）

令和 5 年 2 月 22 日　おれんじカフェ開催（13：30～15：00）

令和 5 年 3 月 22 日　おれんじカフェ開催（13：30～15：00）

５．地域住民に対する福祉教育

・本部

令和 4 年 6 月 30 日　柳井市老人クラブ連合会ふれあい大会講演

令和 4 年 8 月 5 日　認知症サポーター養成講座実施（サマースクール）

令和 4 年 8 月 26 日　山根西自治会リフレッシュいきいきサロン会講演

令和 4 年 9 月 20 日　認知症サポーター養成講座実施（6 名）

令和 4 年 10 月 19 日　認知症サポーター養成講座実施（1 名）

令和 4 年 11 月 6 日　秋の親子体験ツアー「福祉のおしごと出前授業」（講師）

令和 4 年 11 月 29 日　新庄地区福祉講演会　（講師）

令和 5 年 2 月 21 日　認知症サポーター養成講座実施（柳井南小 3・4 年生）

令和 4 年 10 月 2 日　～　令和 5 年 1 月 22 日　　初任者研修講座（3 名）

・サポートセンター

【健康講座】

令和 4 年 7 月 5 日　　私の体は元気なの　納得健康測定　　8 名

（別紙１）

令和４年７月７日	私の体は元気なの　納得健康測定	６名
令和４年７月 12 日	気になる認知症のこと	２名
令和４年７月 14 日	気になる認知症のこと	４名
令和４年７月 19 日	介護保険のいろは	８名
令和４年７月 26 日	元気なからだづくり健康体操を体験	８名
令和４年７月 28 日	元気なからだづくり健康体操を体験	１名
令和４年８月２日	こんな時に施設を使おう	１０名
令和４年８月９日	気を付けて食事のポイント	９名
令和４年８月 23 日	いざというときに助かる看護	９名
令和４年８月 30 日	健康づくり体操	８名
令和４年９月６日	介護保険のいろは１	７名
令和４年９月 13 日	介護保険のいろは２	６名
令和４年９月 15 日	介護保険のいろは３	６名
令和４年９月 20 日	介護保険のいろは４	７名
令和４年９月 27 日	認知症って何だろう	６名
令和４年９月 11 日	嚥下障害とは？誤嚥性肺炎を予防しよう	５名
令和４年 10 月 25 日	在宅で生活するということ	５名
令和４年 10 月 27 日	施設で生活するということ	４名
令和４年 11 月２日	もしもの時を考える	３名
令和４年 11 月９日	自分の最期を考えてみよう	４名
令和４年 11 月 16 日	80 歳からの「人生のすすめ」	５名
令和４年 11 月 30 日	※おれんじカフェのため中止	
令和４年 12 月１日	身体を動かそう　体操教室	３名
令和４年 12 月８日	薬の Q&A～きたに薬局　木谷佳行様	12 名
令和４年 12 月 15 日	80 歳からの「医療・健康」のコツ	４名
令和４年 12 月 22 日	80 歳からの「食事」のコツ	４名
令和５年１月 12 日	リフレーミングとは	６名
令和５年１月 19 日	※カフェの取材のため中止	
令和５年１月 26 日	８０歳からの「行動」のコツ	５名
令和５年２月２日	８０歳からの「脳の老化予防」のコツ	６名
令和５年２月９日	オーラルフレイルについて	８名
令和５年２月 16 日	健康体操/アンガーマネジメントについて	５名
令和５年３月２日	住宅改修と福祉用具を利用しましょう	５名
令和５年３月９日	健康体操	４名
令和５年３月 16 日	「スマホ認知症」と呼ばれている症状を知っていますか？	４名
令和５年３月 23 日	認知症を考えてみよう	４名

令和５年３月 30 日　　「高齢者の介護」と「夏場の対応」について　　３名

・シンシア

令和４年６月 30 日　認知症サポーター養成講座実施（講師）　　１名

令和４年 10 月 19 日　岩国市立灘小学校３年生福祉体験実施　　２名

6. 地域の関係者とのネットワークづくり

令和４年７月 28 日　柳井市主催

在宅医療介護連携事業オーラルフレイル予防検討会　講師

５名

令和５年１月 26 日　柳井市主催

在宅医療介護連携事業オーラルフレイル予防検討会（実践編）講師

５名

７．その他

・本部

令和４年７月３日　いほのしょう海岸清掃参加　　６名

・ゆうわ総合在宅サポートセンター

令和４年６月５日　日本列島クリーン大作戦参加（ビジコム柳井周辺）　６名

・シンシア

令和４年６月５日　エネルギア自治会清掃参加　　２名

令和４年 11 月６日　第 15 回瀬戸内海環境保全大作戦参加　　５名

令和４年 12 月 11 日　エネルギア自治会清掃参加　　２名

令和4年度　求人・採用関係状況報告書

学校向け職場見学会・選考試験

日付	内容	応募者	内定	職場見学会　※個別		参加者
2022/6/24	選考試験	0	0			
2023/8/4	選考試験	1	1	2023/4/13		1
2022/8/26	選考試験	0	0			
2023/9/20	選考試験	2	2	2023/8/23		1
2022/10/21	選考試験	0	0			
2023/12/1	選考試験	1	1	2023/11/14		1
	計	4	4			3

一般採用向け・説明会実施（施設内）

日付	実施場所	応募者	採用	職場見学会	職場見学会参加者
4月6日	管理棟1階相談室	0	0	Web説明会	1
4月13日	管理棟1階相談室	1	1	Web説明会	1
4月26日	管理棟1階相談室	0	0	合同企業説明会	1
6月15日	管理棟1階相談室	0	0	Web説明会	1
6月16日	管理棟1階相談室	0	0	見学会	1
6月16日	管理棟1階相談室	0	0	説明会	1
7月7日	管理棟1階相談室	0	0	じょぶる	1
8月31日	管理棟1階相談室	0	0	マイナビWebセミナー	1
10月7日	管理棟1階相談室	1	1	職場見学	1
10月11日	管理棟1階相談室	1	1	説明会	1
11月24日	管理棟1階相談室	0	0	マイナビ	1
3月16日	管理棟1階相談室	0	0	Web説明会	1
3月23日	管理棟1階相談室	0	0	Web説明会	1
3月24日	管理棟1階相談室	1	1	職場見学	1
	計	4	3		14

就職説明会（施設外）

日付	内容	参加者	人数
2022/6/17	ふるさと山口企業合同就職フェア（高校生対象）	橋本　博行	12
2022/6/18	令和4年度福祉のしごと保育のしごと就職フェア	橋本　博行	7

学校訪問

日付	内容	訪問者
R4.6.16	梅光学院大学 下関看護ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学校 東亜大学 下関福祉専門学校 宇部フロンティア大学 周南公立大学	冨田課長
R4.6.22	山口芸術短期大学 山口県立大学 YIC看護福祉専門学校 山口コ・メディカル学院	冨田課長
R4.7.14	周南公立大学	橋本課長
R4.7.15	山陽女子短期大学 広島文教大学 広島文化学園大学・短期大学 広島文化学園大学 坂キャンパス 広島国際大学	中原事務長
R4.7.21	河原医療福祉専門学校 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 松山大学 今治明徳短期大学	冨田課長
R4.7.22	徳島文理大学 川崎医療福祉大学 川崎医療短期大学	冨田課長
R4.7.26	広島修道大学 安田女子大学安田女子短期大学 広島女学院大学 比治山大学・比治山大学短期大学部 トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 広島国際医療福祉専門学校 広島経済大学	冨田課長
R4.9.7	九州国際大学 九州共立大学 福岡国際医療福祉大学 九州女子大学・九州女子短期大学	冨田課長
R4.9.21	山陽女子短期大学 広島国際大学 近畿大学（広島キャンパス）	西依課長
R4.9.22	山口芸術短期大学 山口県立大学 YIC看護福祉専門学校 山口コ・メディカル学院 周南公立大学	橋本課長
R4.9.27	岩国短期大学 岩国YMCA国際医療福祉専門学校	佐伯課長
R4.9.29	福山平成大学 福山大学 尾道市立大学	西依課長
	広島文教大学 広島修道大学 安田女子大学安田女子短期大学 広島都市学園大学西風新都キャンパス広島医療保健専門学校 広島市立大学	田村施設長
	広島国際学院大学（2020年度学生募集停止）	冨田課長
R4.10.6	島根大学 島根総合福祉専門学校 トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校	冨田課長
R4.10.13	川崎医療福祉大学 川崎医療短期大学	冨田課長
R4.10.17	梅光学院大学 下関看護ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学校 東亜大学 下関福祉専門学校 宇部フロンティア大学	冨田課長

求人媒体への掲載と採用状況

求人媒体	内容	問い合わせ	説明会	選考応募	採用
学校より	新卒	2	2	2	2
マイナビ	新卒	28	10	2	2
その他	新卒	2		2	2
法人ホームページ	一般	3	2	3	3
インディード	一般	1		0	0
職員等からの紹介	一般	11	2	10	8
じょぶる	一般	3	1	0	0
広告	一般	2	1	1	1
ハローワーク	一般	36	5	35	28
学卒・合同就職フェア	一般	2		0	0
チラシ	一般	2	1	2	1
復職	一般	1		1	1
その他	一般	7		1	1
	計	100	24	59	49

計（新卒）	32	12	6	6
計（一般）	68	12	53	43

採用状況・退職状況

学卒採用	6名（男性1名・女性5名）			
一般職員採用状況	採用人数	43名	（男性:20名	女性:23名）
	正規職員	22名	（男性:10名	女性:12名）
	常勤職員	10名	（男性:5名	女性:5名）
	パート職員	11名	（男性:5名	女性:6名）
退職者数 （任期満了6名含む）	退職者人数	50名	（男性:12名	女性:38名）
	正規職員	30名	（男性:8名	女性:22名）
	常勤職員	10名	（男性:2名	女性:8名）
	パート職員	10名	（男性:2名	女性:8名）

令和4年度　事業報告書

部署名	柳井市地域包括支援センター南部支所	記載責任者	石本　優太

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

日常生活圏域おける介護予防利用者の介護予防・日常生活支援総合事業の遂行(介護予防ケアプランの作成、相談支援、定期訪問　等)

②運営活動報告

		【施設内研修】		【施設外研修】
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）		不適切ケアと虐待 クレーム・苦情対応 褥瘡発生メカニズムとずれについて 事故発生後の対応 虐待・不適切ケアを防ぐ 介護現場の接遇とは ことばの影響 個人情報の取り扱い 廃用症候群の基本 廃用症候群の知識と坐位の効果		周東総合病院 情報交換会 在宅医療研修会

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）			
収入（千円）処遇改善除く			

事業報告	達成	
	未達成	
経費削減取組		
その他	本所と支所の役割を分担し、支所が主に介護予防の支援計画を受けていくという方針に従い、積極的に支援件数を受けていった（前年比＋91件）。通所サービスやショートステイの利用に法人内事業所と連携を図り、担当利用者が要介護認定となった場合は、法人内の居宅介護支援事業所、施設入所と連携し紹介、利用に繋げた。法人外の事業所や居宅事業所、医療機関とも連携を図り、相談対応や介護予防支援を行った。	

令和4年度　事業報告書

部署名	グループホーム ゆうわ苑	記載責任者	中元　勝洋

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

・毎月の作成物　各居室用の「扉飾り作成」、家族送付のため「絵手紙作成」を行う。
・室内でのレクリエーションを中心に、季節を感じてもらえるように実施する。
4月　お花見・散歩
5月　スイカ・ミニトマト栽培
7月　七夕・飾りつけ　8月　スイカ収穫
10月　ハロウィン・飾りつけ
12月　クリスマス飾りつけ・ケーキバイキング
1月　お正月・飾りつけ
2月　水墨画作成
3月　ひな祭り・飾り付け

②運営活動報告

職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	【施設内研修】		【施設外研修】	
	R4.4.15	褥瘡予防・状況別ポジショニング等の対応		
	R4.5.20	新型コロナウイルス感染対策について・クラスター（前半）		
	R4.6.17	新型コロナウイルス感染対策について・クラスター（後半）		
	R4.7.15	身体拘束基礎知識・高齢者転倒予防について		
	R4.11.9	苦情対応・不適切ケアと虐待について		
	R4.12.14	褥瘡発生原理・事故発生後の対応		
	R5.1.21	虐待・不適切ケアを防ぐ・介護現場の接遇		
	R5.2.8	インフルエンザ・ノロウイルス他感染対応		
	R3.3.7	言葉の影響・個人情報の取り扱いについて		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	100%	94,2%	▲5,8%
収入（千円）処遇改善除く	37,952	36,591	▲1,361

事業報告	達成	・「医療連携体制加算Ⅰ」の取得 ・訪問看護ステーション協力・連携の下、利用者の事故や体調変化時には訪問看護士の対応を行ってもらえる体勢の構築・維持。 ・家族支援：毎月の入所者の様子を文書で伝達、「みのり便り」作成・送付することで定期的な情報提供を行う。定期受診など、家族の対応が難しい場合はGHでの対応も行うことで家族負担を軽減する。 ・自立支援：日常生活の中で、利用者それぞれのADLや生活リズムに合わせた介助を行う。 ・公休、有給など職員の希望がかなうように勤務形態を構築する。
	未達成	・退所から入所までの流れをうまく作ることが出来ず、空室の期間を多く作ることになってしまった。 ・グループホームとしての地域との関わりを進めることが行えていない。 ・「LIFE」のフィードバックを活用したPDCAサイクル構築を十分に行えていない。 ・利用者の介護度の上昇により日常生活の介助の比重が増加している。その為レクリエーション等の余暇を実施する時間を定期的には確保出来ず、外出など人員が必要なことを行えていない。 ・ミーティングなど職員が集まっての情報交換の場を定期的に設定出来ていなかった。
経費削減取組		・日の光を入れて室内の明かりを落とす、エアコンの入切など消費電力の削減を意識する。 ・トイレットペーパーなどの消耗品は、GH内の在庫を確認して不要なものは受け取らないようにしている。
その他		・トータルケアと連携し必要であれば応援を頼むなどお互いに協力できるようにする。 ・毎日の検温、体調の記録、手洗い、うがいなど感染症対策を入所者だけでなく職員も徹底して行った。 ・「ほのぼの」やタブレットの操作、PC内の情報の提供など、現在は一部の職員しか熟知していないため、GH全職員が操作を行え必要な情報を取り出すことができるようにしたい。

令和4年度　事業報告書

部署名	介護老人保健施設 ケアセンターゆうわ 療養棟2階	記載 責任者	森岡里代子

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

4月　苑内のお花見
5月　フラワーアレンジメント教室
7月　七夕飾り
8月　花火壁面飾り作り
9月　おやつレク（お月見レク）
10月　工作（ミノムシ作り）
12月　クリスマス会
3月　ひな祭り（和菓子レク）

②運営活動報告

	【施設内研修】	【施設外研修】
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（eラーニング） 高齢者の転倒予防（eラーニング） クレーム・苦情対応（eラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング） インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	97.0%	89.5%	-7.5%
収入（千円） 処遇改善除く			

事業報告	達成	【超強化型高稼働予算達成への取り組み】 褥瘡マネジメント加算、排泄支援加算、自立支援推進加算は担当職員で取りこぼしのないように加算をとっている。 加算取得の取り組みは出来ている。 【ホスピタリティのある接遇】 個別ニーズに応じた支援の提供は出来ていた。 【科学的介護の推進】 科学的介護の入力は定着している。
	未達成	【超強化型高稼働予算達成への取り組み】 栄養マネジメント加算、口腔衛生加算未取得 【ホスピタリティのある接遇】 ユマニチュードのチェックシートを使用しているが上手く浸透していない。 月１ミーティングの実施が出来ておらずホスピタリティに対する話合いが不十分だった。 【科学的介護介護の推進】 科学的介護の入力は定着しているが、充分なフィードバックには繋がっていない。 【人材定着・育成】 人材定着は出来ていない。相談し易い職場づくりが必要。職員間の風通しの良い職場を目指す。
経費削減取組		″エアコンの使用のタイムスケジュール活用 老健での薬剤において、中央薬剤室にて衛生用品を一括管理することで無駄をなくしている。″ 水道光熱費の無駄をなくす為、洗濯物はまとめて行うようにした。 節水、節電に努めた。
その他		コロナウイルスクラスター発生あり。

令和4年度　事業報告書

部署名	介護老人保健施設 ケアセンターゆうわ 療養棟3階	記載 責任者	田房　聡子

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

②運営活動報告

	【施設内研修】	【施設外研修】
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（eラーニング） 高齢者の転倒予防（eラーニング） クレーム・苦情対応（eラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング） インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	山口県認知症介護実践リーダー研修参加 するも、施設内クラスターにて講習受けれず。

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	97.0%	85.0%	-12.0%
収入（千円） 処遇改善除く			

事業報告	達成	1-①　ユマニチュードの浸透 　チェック表を使用し、勤務後に自身を振り返ることが出来ている。しかし、目標設定が自身の出来ていることに偏っている傾向にある。 1-②　個別ニーズに応じた支援の提供 　利用者の状況、想い、家族の想い、その他の環境を把握することに取り組み、職員一人一人が情報収集に取り組んでいた。 2-①　科学的介護介護を通じて質の高いケアに取り組む 　科学的介護の入力は定着している。 3-①　超強化型高稼働達成への取り組み 　加算の取り組みに取り組んでいる。
	未達成	1-②　個別ニーズに応じた支援の提供 　　職員同士で情報の共有に努めていたが、在宅復帰、施設、医療機関等退所先の把握が困難であり、個別支援には繋がらなかった。 2-①　科学的介護介護を通じて質の高いケアに取り組む 科学的介護の入力は定着しているが、充分なフィードバックには繋がっていない。 3-①　超強化型高稼働達成への取り組み 　栄養マネジメント加算、口腔衛生加算未取得
経費削減取組		エアコンの使用のタイムスケジュール活用 老健での薬剤において、中央薬剤室にて衛生用品を一括管理することで無駄をなくしている。
その他		

令和4年度　事業報告書

部署名	介護老人保健施設 ケアセンターゆうわ 療養棟4階	記載 責任者	森岡里代子

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

4月　おやつレク　お花見団子
　　おやつレク　ミニドーナツをデコレーション
　　車窓から見るバスハイクツアー　誕生会
5月　端午の節句　誕生会
6月　おやつレク　和菓子作り、季節感を感じて頂く冷麺作り、誕生会
8月　残暑見舞いのお手紙書き
11月　おやつレク　抹茶クリーム大福、誕生
12月１９日～２３日　ゆず風呂
12月21日　クリスマスケーキ作り
12月11日　クリスマス飾り
12月26日～30日　正月飾り
2月２日　節分レク（鬼退治）
2月21日～3月10日　上関城山公園　河津桜鑑賞　バスハイク
3月20日　お花見　田布施川、般若寺、桜土手　バスハイク

②運営活動報告

	【施設内研修】	【施設外研修】
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（eラーニング） 高齢者の転倒予防（eラーニング） クレーム・苦情対応（eラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング） インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	97%	94.30%	-2.70%
収入（千円） 処遇改善除く			

事業報告	達成	【超強化型高稼働予算達成への取り組み】 褥瘡マネジメント、排泄支援加算、自立支援推進加算は取れている。加算の取り組みに取り組んでいる。 4階で担当者を決めて取りこぼしのないように努めている。 【ホスピタリティのある接遇】 ユマニチュードのチェック表を用いて職員間に新党しつつある。 個人目標を設定し各自で目標達成のために取り組んでいた。 【科学的介護の推進】 リハ職と毎朝のミーティングで情報共有し行えていた。 科学的介護の入力は定着している。
	未達成	【超強化型高稼働予算達成への取り組み】 栄養マネジメント加算、口腔衛星管理加算が取れていない。 【ホスピタリティのある接遇】 月目標の設定が出来ていなかった。今後の取り組み課題である。 利用者アンケート実施も出来ていない。質の高いケアをするためには今後行う必要がある。 【科学的介護の推進】 科学的介護の入力は定着しているが、充分なフィードバックには繋がっていない。 【人材定着、育成】 離職率が高く職員の定着が出来ていない。職員間のホスピタリティの充実が必要。
経費削減取組		エアコンの使用のタイムスケジュール活用 老健での薬剤において、中央薬剤室にて衛生用品を一括管理することで無駄をなくしている。
その他		

令和4年度　事業報告書

部署名	ソーシャルコンシェルジュ	記載責任者	川口欽市

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

②運営活動報告

	【施設内研修】	【施設外研修】
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（eラーニング） 高齢者の転倒予防（eラーニング） クレーム・苦情対応（eラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング） インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	97	89.3	-7.7
収入（千円）処遇改善除く	485,708	472,021	-13,687

事業報告	達成	新規の加算算定へ取り組みを実施。各加算に責任者をつけて算定を現実化する →褥瘡、排泄、自立支援、リハビリ計画書に関して新規の加算を算定 関係医療機関、居宅への広報活動を月1回、空き情報のお知らせを週1回継続して行う。 →月1回の訪問と、月2回の空床情報提供を実施 有給休暇取得を促し、全職員年間10日以上の有給取得を行う。 部署内での毎朝夕のミーティング、定期的な上司と部下の面談を通し、悩みや課題の共有、フォローを早期に行う。 →病気療養やコロナ感染を含めて10日の有給休暇を取得
	未達成	在宅復帰在宅療養支援加算Ⅱの継続算定を行う為、指標が毎月70点を超えるように月6件の在宅復帰を継続して実施する。 →入院者の増加により、算定ができなくなる 相談員の相談業務時間の確保の実施。受診送迎対応、ショートステイ送迎、看護対応の削減 →送迎業務などの削減がかなわず、過度な残業や、昼休みを削って働く状況が発生
経費削減取組		電気代削減のため、デマンドアラーム警告時に、各部署への節電のお願いを行った。
その他		2度のクラスター発生 家族連絡や行政への報告、外部病院へ処方薬の依頼や調達を行った

令和4年度　事業報告書

部署名	介護老人保健施設 ケアセンターゆうわ （通所リハビリ）	記載 責任者	西依　憲一

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

・ケーキバイキング
・おやつレクリエーション
・園芸療法
・屋外でのリハビリ実施
・屋外散策
・絵手紙など展示物作成
・季節ごとの作品制作（作業療法）

②運営活動報告

職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	【施設内研修】 褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング） クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング） 【施設外研修】 安全運転管理者研修（西依） 柳井市オーラルフレイル検討会（中上）

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	２５８日営業　４１．８人/月	２５５日営業　３８．１人/月	▼3日　▼3．7人/月
収入（千円）	98,802	94,028	▲ 4,774

事業報告	達成	・科学的介護推進体制加算、口腔機能向上加算Ⅱ、入浴介助加算Ⅱの加算の算定を開始した。 ・リハビリマネジメント会議を再開（橋本先生はZoomで参加）しリハマネ加算の算定を開始した。 ・リハビリマネジメント会議での議題を主治医に報告することで医療との連携に繋がった。 ・毎月デイケア便りを発行し情報発信に努めた。 ・業務改善シートの作成に着手し、質の向上に努めることが出来た。（令和５年度も継続） ・理学療法士による効率的な自宅訪問が定着した。 ・ユマニチュードの「見る技術」を意識しケアに取り組むことができた。 ・離職ゼロを達成することが出来た。
	未達成	・稼働率未達のため収入は予算比９５．１％となった。（未達のうち１．１％は休業による） ・重度療養管理加算の算定手続きが滞り開始できなかった。 ・ほのぼのシステムを活用した情報提供が出来なかった。
経費削減取組		・エアコンや電気等の節電への注意喚起を職員全員で意識して行った。 ・ペーパーレスへの取り組みを強化した。
その他		・台風、雪の影響で3日/年、休業日が発生した。 ・物損などの車両事故が多かった。 ・朝の会を定着させ利用者様の役割の場、主役になる場を増やすことができた。

令和4年度　事業報告書

部署名	介護老人保健施設 ケアセンターゆうわ （訪問リハビリ）	記載 責任者	西依憲一

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

訪問サービスのため、特になし

②運営活動報告

職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	【施設内研修】	
	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング） クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）
		【施設外研修】
		特になし

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	登録者５名×２回/週	登録者１名×１回/週	▲登録４人
収入（千円）	1,373	192	▲ 1181

事業報告	達成	・離職ゼロを達成することが出来た。 ・車両事故ゼロを達成。
	未達成	・積極的な運営ができず登録人数を増やすことが出来なかった。 ・チラシ作成やアピールポイントの整理が出来なかった。 ・ケアマネ連絡協議会、民生委員集会などでの広報活動が未実施。
経費削減取組		・エアコンや電気等の節電への注意喚起を職員全員で意識して行った。 ・ペーパーレスへの取り組みを強化した。
その他		・通所リハビリの運営が主になり、訪問リハビリまで注力しなかった。

令和4年度　事業報告書

部署名	小規模多機能型 居宅介護 ﾄｰﾀﾙｹｱゆうわ	記載 責任者	正川　康文

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

コロナ禍であり密になるレクリエーションや外出行事は中止していました。
室内でのレクリエーションでは、マスク着用のもと風船バレーや体操・計算ドリル等に取り組み、生活リハビリの中で洗濯物をたたんで頂いたり、タオル巻き、新聞紙にてゴミ袋折りに取り組んで頂きました。

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	R4.4.15	褥瘡予防について		コロナ禍により中止しています。
	R4.5.20	新型コロナウイルス感染対策について（前編）		
	R4.6.17	新型コロナウイルス感染対策について（後編）		
	R4.7.15	身体拘束の基礎知識・高齢者の転倒予防		
	R4.8	コロナ感染拡大防止のため中止		
	R4.9	コロナ感染拡大防止のため中止		
	R4.10	コロナ感染拡大防止のため中止		
	R4.11	クレーム・苦情対応、不適切ケアと虐待		
	R4.12	褥瘡発生のメカニズム・事故発生後の対応		
	R5.1	虐待・不適切ケアを防ぐ・介護現場の接遇とは		
	R5.2	インフルエンザ・ノロウイルス対応等		
	R5.3	ことばの影響・個人情報の取り扱い		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	85%（29）	76%（22）	▲9%(7)
収入（千円） 処遇改善除く	79,773	54,070	▲25,703

事業報告	達成	・訪問時の服装や言葉使いを意識し、ご利用者様への日常会話やご家族様からの声を大切にした個別計画を立て、個々人の自立に向けた支援を行いました。 ・ミーティングを実施し職員間のコミュニケーションを図り、接遇意識向上を図りました。 ・令和4年度は公用車運転時等に運転マナーや事故防止を徹底し事故ゼロにしまた。 ・目標登録者数27名を達成しました。
	未達成	・SDGs（持続可能な開発目標）知識向上に努めることが出来ず、目標3「すべての人に健康と福祉を」と目標11「住み続けられるまちづくりを」の取り組みで地域から選ばれる施設づくりに着手する計画をしましたが、十分な実行（行動）までに繋げていくことができませんでした。 ・訪看、看多機等の他部所との連携を図り、老健施設との行き来や在宅復帰への支援体制づくりの計画をしていますが、まだ十分な成果をですところまでにはいきませんでした。
経費削減取組		・コマめに電気を消し節電に取り組む。 ・水の流ればなしをなくす。 ・コピー用紙の裏面の活用。 ・送迎、配食は段取りよく行う。
その他		令和4年度は、目標登録者数の達成は出来たものの、十分な成果を出すことが出来ていません。今後持続可能な開発目標の（SDGs）目標3・11を達成させていく土台（仕組づくり）の実践と合わせ成果を出していきます。

令和4年度　事業報告書

部署名	ケアハウス ゆうわ苑	記載責任者	五味　賢一郎

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

4月6日：桜見学会（少数）	10月27日：玉入れ競争	3月3日：おやつレク（桜餅作り）
4月8日：桜見学会（少数）	11月9日：ストラックアウト大会	
5月5日：おやつレク （おはぎ作り）	12 月10日：年賀状レクリエーション	
6月8日：ボーリング大会	12月22日：クリスマス会・ビンゴ大会	
7月7日：七夕会	1月1日：新春写真撮影会	
7月13日：初夏のドライブ（上関）	1月2日：書初め	
7月20日：初夏のドライブ（中電公園）	1月27日：ぜんざい作り	
9月16日：輪投げ大会	2月4日：風船ボンボン大会	
9月22日CH：敬老会式典	2月3日：節分行事	※以上、コロナ対策の上
10月12日：魚釣り大会	2月19日：足綱引き大会	実施いたしました。

②運営活動報告

職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	【施設内研修】	【施設外研修】
	R4.4.15　褥瘡予防・状況別ポジショニング等の対応（eラーニング）	
	R4.5.20　新型コロナウイルス感染対策について・クラスター（前半）	
	R4.6.17　新型コロナウイルス感染対策について・クラスター（後半）	
	R4.7.15　身体拘束基礎知識・高齢者転倒予防について（eラーニング）	
	R4.11.9　苦情対応・不適切ケアと虐待について（eラーニング）	
	R4.12.14　褥瘡発生原理・事故発生後の対応（eラーニング）	
	R5.1.21　虐待・不適切ケアを防ぐ・介護現場の接遇について（eラーニング）	
	R5.2.8　インフルエンザ・ノロウイルス他感染対応（eラーニング）	
	R3.3.7　言葉の影響・個人情報の取り扱いについて（eラーニング）	

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	98.0%	97.8%	▲0.2%
収入（千円）	176,295	174,227	▲4,184

事業報告	達成	※ユマニチュードチェック表の活用によりパート職員・技能実習生に至るまでの共通認識が推進され 接遇面における質の向上は達成出来たと思う。 ※職場環境の改善及び職員のフォローアップ体制の充実を図る上で、両主任が連携を密にして職員が 抱える諸問題の解決を目指すフィードバック面接が即座に行えた。 ※下期から月に1度の定例ミーティングが継続できている事が大きな前進点である。内容の充実
	未達成	※入院者が増加していく中で、退院して戻って来られた入居者の機能低下に歯止めがかからず、重度化の波に飲み込まれて、自立支援型のサービス提供が行えなかった。 ※a.稼働率～　　予算98.0%→実績97.8% b.平均介護度～予算2.2　　→実績1.9 c.在籍者数は月初め50床満床～達成月　　7回 未達成月　5回（4月・6月・9月・10月・1月） 上記a～cの他に月平均入院者1.7名による空床等が収益が落ち込んだ大きな要因であると分析。
経費削減取組		※物価高騰の社会情勢を踏まえて、掲示物等で節電・節水の啓蒙活動を行った。 ※物品申請システムの導入に伴い、承認者による定期ラウンドにより過不足のチェック及び適正量が保たれているかのチェックを適宜開始した。
その他		※期の半ばで新たな技能実習生1名受け入れを実施。3月には第1回目の技能実習試験を合格して、部署運営を進める中での大きな原動力となっている。

令和4年度　事業報告書

部署名	ゆうわ苑 デイサービスセンター	記載 責任者	冨川昌哉

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

・3月：おやつ作り（3色ババロア作り、ほうじ茶黒糖プリン作り、キャラメルバナナパンケーキ作り）、河津桜バスハイクツアー
・5月：おやつ作り（プリン作り、抹茶とあんこの羊羹作り）、藤の花見学バスツアー
・6月：大島ドライブ・カフェツアー紫陽花鑑賞ツアー、おやつ作り（牛乳寒天作り）
・7月：柳井ドライブ・カフェツアー、買い物ツアー、流しそうめんレクリエーション、おやつ作り（七夕アイス作り）
・8月：夏祭り、フラワーランド鑑賞ツアー
・9月：おやつ作り（豆乳白玉団子作り、スイートポテト作り）、敬老会行事（DS独自で実施）、秋季大運動会
・11月：紅葉鑑賞ツアー、おやつ作り（プリンパフェ作り）
・12月：忘年会2月：バレンタイン行事8チョコレート作り）、節分行事
・3月：錦帯橋お花見ツアー、河津桜バスツアー、田布施川花見、ひな祭りレクリエーション

②運営活動報告

職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	【施設内研修】 褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング） クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング） 【施設外研修】 該当なし

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	67日営業（6月～土曜休止）36.8名/月	252日営業 30.5名/月	▲15日▲6.3名/月
収入（千円） 処遇改善除く	84,575	74,906	▲9,669

事業報告	達成	・科学的介護推進連携加算の継続算定 ・個別機能訓練加算Ⅰ（ロ）の算定再開 ・朝の集い、夕の集い、利用者様懇談会の新規取り組みを実施 ・接遇向上に向けて毎月ミーティングで課題を決め実施した ・広報誌の毎月更新・配布については滞りなく行えた ・各サービスごとに担当者を決め、総点検を実施した ・自立支援促進を目標にご利用者様を尊重した支援、過介護の廃止 ・送迎時にご家族様への状況報告やお声かけの徹底
	未達成	・ADL維持向上加算の未算定 ・個別機能訓練加算Ⅱの未算定 ・科学的介護のフィードバックをもとに多職種でのミーティングが上手く行えず内容の薄いものになってしった ・ほのぼのやLIFEを駆使しての業務改善やペーパーレス化に取り組めなかった ・通所介護計画書を各かかりつけ医に配布
経費削減取組		・車両事故ゼロ ・冷暖房デマンド管理 ・入浴中の足し湯用等については適温に調節し出しっぱなしにしないように徹底 ・物品在庫の定期的な確認
その他		・コロナウイルス蔓延に伴い休業（15日間）

令和4年度　事業報告書

部署名	シンシアゆうわ（入所）	記載責任者	田村直洋

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

5月11日	ドライブ	10月12日	おやつレク（キャラメルスイートポテト）
13日	おやつレク（抹茶どら焼き）	11月22日	おやつレク（ババロア）
18日	ドライブ	12月21日	クリスマス会、ケーキ作り
25日	ドライブ	1月25日	おやつレク（ココアスノーボールクッキー）
6月8日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）	1月30日	おやつレク（おしるこ）
15日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）	2月22日	おやつレ
22日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）	3月3日	ひな祭り
30日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）		
9月15日	おやつレク（フレンチトースト）		

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	4月29日	身体拘束について	7月21日	四大ハラスメント研修（オンライン）
		事故防止について	6月10日	老人福祉施設施設長研修
	6月10日	看取りについて		
		介護保険の基礎について		
	7月29日	高齢者施設における食中毒予防について		
		高齢者虐待防止について		
		褥瘡予防について		
	9月30日	ユニットケアについて　腰痛予防について		
	10月28日	感染予防について		
	11月25日	アンガーマネジメントについて		
		ハラスメントについて		
	1月27日	身体拘束について　基礎的な介護について		
	2月24日	下期成果発表会		
	3月31日	高齢者虐待防止について　苦情対応について		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	98.0%	96.0%	▲2%
収入（千円）	153,780	153,384	▲396

事業報告	達成	・看護体制加算Ⅰの算定を始める。 ・配置医師緊急時対応加算の算定を開始する。 ・日常生活継続支援加算等の従来より算定している加算は継続算定できている。 ・科学的介護推進体制加算Ⅱ、褥瘡マネジメント加算Ⅲは継続算定できている。 ・看取り時のデスカンファレンスを行い、対応した職員のメンタルケアを行う ・ユニットリーダー研修を1名受講
	未達成	・目標稼働率98%が96%になってしまった。 ・年間13名の退所（看取り）があり入所がスムーズに行かず稼働率を下げた。
経費削減取組		・消耗品の在庫管理 ・ユニットリーダー会議にて電気使用量削減を意識付け
その他		・令和4年度退所者13名、13名ともにシンシアゆうわで看取りを行う ・入所検討委員会実施（4/12・8/8・12/5・3/6） ・消防訓練実施（6/14・12/8） ・運営推進会議の実施（5/18・7/20・9/21・11/16・1/18・3/15） ・第三者評価受審（2022.11/9） ・地域の公園清掃、海岸清掃に参加 ・週2回の抗原検査実施中（2022.10/24～2023.9/30）

令和4年度　事業報告書

部署名	シンシアゆうわ（短期入所）	記載責任者	田村直洋

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

5月11日	ドライブ	10月12日	おやつレク（キャラメルスイートポテト）
13日	おやつレク（抹茶どら焼き）	11月22日	おやつレク（ババロア）
18日	ドライブ	12月21日	クリスマス会、ケーキ作り
25日	ドライブ	1月25日	おやつレク（ココアスノーボールクッキー）
6月8日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）	1月30日	おやつレク（おしるこ）
15日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）	2月22日	おやつレ
22日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）	3月3日	ひな祭り
30日	ドライブ（蜂が峰縫合公園）		
9月15日	おやつレク（フレンチトースト）		

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	4月29日	身体拘束について	7月21日	四大ハラスメント研修（オンライン）
		事故防止について		
	6月10日	看取りについて		
		介護保険の基礎について		
	7月29日	高齢者施設における食中毒予防について		
		高齢者虐待防止について		
		褥瘡予防について		
	9月30日	ユニットケアについて　腰痛予防について		
	10月28日	感染予防について		
	11月25日	アンガーマネジメントについて		
		ハラスメントについて		
	1月27日	身体拘束について　基礎的な介護について		
	2月24日	下期成果発表会		
	3月31日	高齢者虐待防止について　苦情対応について		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	97.0%	96.1%	▲0.9%
収入（千円）	50,461	49,074	▲1,387

事業報告	達成	・特養の空所時に空所利用を実施 ・ユニット炊飯、ユニットでの盛り付けを実施（朝食・昼食・夕食） ・看取り時のデスカンファレンスを行い、対応した職員のメンタルケアを行う ・ユニットリーダー研修を1名受講
	未達成	・目標稼働率97.0%としていたが稼働率96.1%となり▲0.9%未達成となった。 ・利用者様、ご家族様に対してサービス満足度調査が未実施
経費削減取組		・消耗品の在庫管理 ・送迎時のアイドリングストップ、送迎ルートの確認を実施
その他		・地域の公園清掃、海岸清掃に参加 ・消防訓練実施（6/14・12/8） ・週2回の抗原検査実施中（2022.10/24～2023.9/30）

令和4年度　事業報告書

部署名	シンシアゆうわ デイサービスセンター	記載 責任者	浅井　英勇

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

5月・バラ園バスハイク（蜂ヶ峰公園）
10月・運動会
11月・紅葉バスハイク（錦帯橋）
12月・クリスマス会
R5.1月・初詣
R5.3月・カフェツアー（カフェド・ミュール・ブラン）
R5.3月・桜バスハイク

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月29日	身体拘束について 事故防止について	7月21日	四大ハラスメント研修（オンライン）
	6月10日	看取りについて 介護保険の基礎について		
	7月29日	高齢者施設における食中毒予防について 高齢者虐待防止について 褥瘡予防について		
	9月30日	ユニットケアについて　腰痛予防について		
	10月28日	感染予防について		
	11月25日	アンガーマネジメントについて ハラスメントについて		
	1月27日	身体拘束について　基礎的な介護について		
	2月24日	下期成果発表会		
	3月31日	高齢者虐待防止について　苦情対応について		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	17.1名	17.7名	△0.6名
収入（千円）	42,411	42,666	△254

事業報告	達成	稼働率…目標17.1名に対し、実績17.7名△0.6名と達成。 収入…目標42,411（千円）に対し、42,666（千円）△254（千円）となる。（コロナと台風による営業中止が6日間あり） 科学的介護加算算定。 口腔・栄養スクリーニング加算Ⅰ算定。 サービス提供体制加算Ⅲ算定。
	未達成	入浴介助加算Ⅱ（ケアマネからの許可が出ず、算定できず。）
経費削減取組		・エアコンのタイマーをセットし、消し忘れ防止。
その他		・消防訓練実施（6/14・12/8） ・週2回の抗原検査実施中（2022.10/24～2023.9/30） ・月一回の利用者懇談会の実施。継続。 ・定員20名から25名へ増員。

令和4年度　事業報告書

部署名	小規模多機能 シンシアゆうわ	記載 責任者	石原　絵美

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

4/1、2…外出レク（お花見ドライブツアー）
5/4、6…おやつレク（鯉のぼりクレープ）
5/23、25、26、27…外出レク（蜂ヶ峰バラ公園ドライブツアー）
9/15…おやつレク（お月見じゃが芋餅）
10/13…おやつレク（ゴマ団子）

（コロナ感染拡大により中止）
6/28、29…おやつレク（白玉紫陽花ポンチ）
8/2、3…おやつレク（かき氷）

11/9…おやつレク（アップルケーキ）
12/22、23…おやつレク（ビュッシュドノエル）
1/19、20…おやつレク（白玉ぜんざい）
2/14…おやつレク（バレンタインチョコドーナツ）
3/2、3…おやつレク（3色団子パフェ）
3/28、30…外出レク（お花見ドライブツアー）

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月29日	身体拘束について	7月21日	四大ハラスメント研修（オンライン）
		事故防止について	9月8日	小規模連絡協議会 第1回研修部会（ｵﾝﾗｲﾝ）（牧平・大崎）
	6月10日	看取りについて		
		介護保険の基礎について	9/12.13.24.27 10/13	認知症介護実践者研修（大崎）
	7月29日	高齢者施設における食中毒予防について		
		高齢者虐待防止について	2月21日	小規模連絡協議会 第2回研修部会（ｵﾝﾗｲﾝ）（石原・長谷川・森木）
		褥瘡予防について		
	9月30日	ユニットケアについて　腰痛予防について		
	10月28日	感染予防について		
	11月25日	アンガーマネジメントについて		
		ハラスメントについて		
	1月27日	身体拘束について　基礎的な介護について		
	2月24日	下期成果発表会		
	3月31日	高齢者虐待防止について　苦情対応について		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	97%（28名）	93%（26.9名）	▲1.1名
収入（千円）	92,388	94,273	△1,885

事業報告	達成	・訪問体制加算や科学的介護推進体制加算など予定通り算定する。 ・紹介元に定期的に電話連絡し利用状況の報告を行い新規紹介に繋げる事が出来た。 ・病院からの相談にも迅速に対応することで退院からの新規利用に繋げる事が出来た。 ・本部の各事業所と連携をとることでマメゾンやケアセンターゆうわへの利用に繋げることができた。 ・ケアセンター利用から在宅復帰、小規模の再登録へと繋げられたケースもあった。 ・ホスピタリティのある接遇を行うための活動（朝礼時の理念唱和、送迎前の職員同士の声の掛け合い、ミーティング時の接遇の見直しなど）は全て継続して行うことができた。 ・定期的な面談や職員と一対一の会話などを継続することによって職員の定着を図ることができた。
	未達成	・29名登録を実現できた月もあったが、入院や特養入所など解約となるケースも多く、維持する事は困難だった。 ・科学的介護を通じた質の高いケアへの取り組みは、フィードバックの内容が個々の支援計画へ反映させるようなものではなく、実行できなかった。 ・口腔・栄養スクリーニング加算については対象者がおらず取得出来なかった。
経費削減取組		・空き部屋や全居室の見回りを行い不要なエアコンや電気をこまめに消した。又、温度計もこまめに確認し空調管理を行う事で不要な電力削減に取り組めた。 ・定期的に送迎、訪問のルートを見直しガソリン代の節約に努めた。
その他		・消防訓練実施（6/14・12/8） ・運営推進会議の実施（5/18・7/20・9/21・11/16・1/18・3/15） ・週2回の抗原検査実施中（2022.10/24～2023.9/30）

令和4年度　事業報告書

部署名	シンシアゆうわ 居宅介護支援事業所	記載 責任者	田房　利一

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月29日	身体拘束について	5月	地域ケア会議(なんわ会)
		事故防止について	11月	地域ケア会議(地域包括支援センター)
	6月10日	看取りについて		
		介護保険の基礎について	下期	ケアマネ更新研修2名
	7月29日	高齢者施設における食中毒予防について		
		高齢者虐待防止について		
		褥瘡予防について		
	9月30日	ユニットケアについて　腰痛予防について		
	10月28日	感染予防について　実技訓練		
	11月25日	アンガーマネジメントについて		
		ハラスメントについて		
	1月27日	身体拘束について　基礎的な介護について		
	2月24日	下期成果発表会		
	3月31日	高齢者虐待防止について　苦情対応について		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	1085名	1075名	▲10名
収入（千円）	9,300	12,190	△2,890

事業報告	達成	・定期的な営業活動 ・積極的に新規を受け入れ ・年度末には113名となり37.7名平均での受け持ち ・初回加算、入退院時加算などの取りこぼしゼロ ・法人内の他事業所との連携 ・1年を通じて全スタッフが計画的に有給消化を行った ・物損や人身事故などの車両事故ゼロ ・ホスピタリティある接遇にて、1年を通じて苦情が1件のみ
	未達成	・社会貢献での地域活動
経費削減取組		・公用車の運用について・・・アイドリングストップ、訪問ルート確認など ・コピー用紙削減 ・光熱費削減・・・電気使用とエアコン温度の徹底
その他		・離職者ゼロ ・週2回の抗原検査実施中（2022.10/24～2023.9/30）

令和4年度　事業報告書

部署名	住宅型有料 老人ホーム ゆうわマ・メゾン	記載 責任者	川井　恭史郎

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

・4月ゆうわ苑内でのお花見。
・敬老会での表彰式・撮影会
・クリスマス会でのケーキなどの食事
・新年の記念撮影
・ひな祭り撮影会

②運営活動報告

		【施設内研修】	担当委員会
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング	感染対策・褥瘡対策
	5月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前	感染対策・褥瘡対策
	6月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後	感染対策・褥瘡対策
	7月	身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング）	人権尊重・事故防止 サービスの質の向上
	8月	感染拡大防止のため実施せず	
	9月		
	10月		
	11月	クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング）	接遇改善・職員育成 コンプライアンス
	12月	褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策 人権尊重・事故防止・サービスの質向上
	1月	虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	人権尊重・事故防止・サービスの質向上 接遇改善・職員育成
	2月	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策
	3月	ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	コンプライアンス

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（入居者数）	平均入居者数27名（満床27名）	平均入居者数26.2名（満床27名）	▲0.8
収入（千円）	41,486	40,216	▲ 1,270

事業報告	達成	・ホスピタリティーにおいて、接遇チェック表を通して各職員に毎日の振り返りを行う事ができた。 ・業務の明確化において、有料業務マニュアルの見直しを行った。また、山本コンサルの指導を参考に定期巡回と有料老人ホームのサービスの明確化を行った。 ・長期入院を防ぐ取り組みとして、他部署と連携し、早期発見・早期報告を実施した。 ・新規事業の取り組みとして定期的な広報活動を行った。
	未達成	・待機者の確保が上手くいかず、1年の平均稼働率が97%となった。
経費削減取組		・業務負担削減やペーパーレス化のためにタブレットでの連絡を行った。 ・夜警職員に19：00以降は施設内の節電を行ってもらった。またＤＳ利用時は居室内の消灯を行った。
その他		・毎月の部署内ミーティングを行い、働きやすい職場環境づくりを行った。

令和4年度　事業報告書

部署名	サポートセンタータリア	記載責任者	西依　憲一

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

コロナの影響もあり、令和4年度は運営実績なし

②運営活動報告

職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	【施設内研修】	【施設外研修】

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	R4.10月から2名スタート。 R5.3月で8名受け入れ。	運営実績なし	▲８名
収入（千円）	435	－	▲ 435

事業報告	達成	コロナの影響もあり、令和４年度は運営実績なし
	未達成	コロナの影響もあり、令和４年度は運営実績なし
経費削減取組		コロナの影響もあり、令和４年度は運営実績なし
その他		

令和4年度　事業報告書

部署名	ゆうわケアプランセンター	記載責任者	山根　優子

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

②運営活動報告

	【施設内研修】	【施設外研修】
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	苑内研修に参加した。	・柳井広域介護支援専門員研修 ・柳井地区介護支援専門員研修 ・主任介護支援専門員更新受講要件研修 ・介護支援専門員更新研修Ⅱ ・主任介護支援専門員研修 ・周東総合病院情報交換会 ・柳井市内ケアマネ事例検討会

	予算	実績	差異ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
述べ件数	1800	1757	▲43
収入（千円）処遇改善除く	26,617	27,668	1,051

事業報告	達成	・初期加算、退院退所時加算、入院時連携加算を算定、特定事業所加算Ⅱを7月より算定開始。 ・前期、後期共、特定事業所集中減算の適用なし。毎月紹介率を計算し、分析や状況把握にも努めた。 ・苑内研修、苑外研修には出来る限り参加した。 ・民生委員連絡協議会に参加し地域との情報共有をはかった。（阿月地区、伊保庄地区） ・様々なケースに取り組み、件数を維持出来た。 ・2月に1名が主任ケアマネを取得し、職員の資質向上につながった。
	未達成	・複雑多様なケースへの対応等で、業務が煩雑多様となってしまったこともあったが、業務に追われる状態の改善が十分にできなかった。
経費削減取組		・冷暖房の温度設定には充分に気を配り必要最小限で使用した。 ・公用車の効率的な使用。 ・事業所内の電灯は、外出時こまめに消した。
その他		・柳井市ケアプランチェック（3月）。大きな指摘事項無く、適正な運営に努めた。 ・非常勤ケアマネが8月に1名退職、9月に1名入職。常勤換算8月まで4．7、9月から4．4。 ・9月に古開作から本部に移転。伊保庄阿月との地縁、旧ゆうわ苑居宅時代の縁、法人内の同一敷地内事業所との連携が強化された。

令和4年度　事業報告書

部署名	シンシア サポートセンター タリア	記載 責任者	浅井　英勇

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

5月・バラ園バスハイク（蜂ヶ峰公園）
10月・運動会
11月・紅葉バスハイク（錦帯橋）
12月・クリスマス会
R5.1月・初詣
R5.3月・カフェツアー（カフェド・ミュール・ブラン）
R5.3月・桜バスハイク

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】	
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月29日	身体拘束について 事故防止について	7月21日	四大ハラスメント研修（オンライン）
	6月10日	看取りについて 介護保険の基礎について		
	7月29日	高齢者施設における食中毒予防について 高齢者虐待防止について 褥瘡予防について		
	9月30日	ユニットケアについて　腰痛予防について		
	10月28日	感染予防について		
	11月25日	アンガーマネジメントについて ハラスメントについて		
	1月27日	身体拘束について　基礎的な介護について		
	2月24日	下期成果発表会		
	3月31日	高齢者虐待防止について　苦情対応について		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	2.0名	1.8名	▲0.2名
収入（千円）	855	911	△56

事業報告	達成	
	未達成	稼働率…目標2.0名に対し、1.8名と▲0.2名となる。
経費削減取組		・エアコンのタイマーをセットし、消し忘れ防止。
その他		・消防訓練実施（6/14・12/8） ・週2回の抗原検査実施中（2022.10/24～2023.9/30）

令和4年度　事業報告書

部署名	看護小規模多機能 サンリンク	記載 責任者	吉崎　和江

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、期中は外出行事等は行えなかったが、利用者個々の特性を鑑みたレクリエーションを個別に実施した。

②運営活動報告

職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	【施設内研修】	
	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前半） 新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後半） 身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング） クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング） 褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング） 虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング） ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング） 【施設外研修】

稼働状況 （登録数）	予算	実績	差異
	平均登録者19.3人	平均登録者17.3人	▲2.0人
収入（千円）	79,403	77,859	▲1,544

事業報告	達成	1. ホスピタリティある接遇に取り組み利用者やご家族に誠実なサービス提供 2. 科学的介護を通じて質の高いケアに取り組む 3. 早期経営安定化と安定した財務基盤の確立 4. サービスの担い手である人材の確保と育成
	未達成	5. 事業継続計画（BCP）の策定 6. 社会貢献への取り組み
経費削減取組		・電気料金について、令和5年2月からデマンド管理システムを導入し数値で管理する体制を整えたので、期中は数値目標による十分な管理が管理ができなかった。
その他		・医療依存度の高い利用者をケアさせていただく観点から、介護職員に医療的ケアの研修を看護職員を中心に実施した。

令和4年度　事業報告書

部署名	定期巡回訪問ｻｰﾋﾞｽ ﾕｰ･ｱﾝﾄﾞ24ゆうわ	記載 責任者	原　貴史

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

②運営活動報告

		【施設内研修】	担当委員会
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング	感染対策・褥瘡対策
	5月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前	感染対策・褥瘡対策
	6月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後	感染対策・褥瘡対策
	7月	身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング）	人権尊重・事故防止 サービスの質の向上
	8月	感染拡大防止のため実施せず	
	9月		
	10月		
	11月	クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング）	接遇改善・職員育成 コンプライアンス
	12月	褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策 人権尊重・事故防止・サービスの質向上
	1月	虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	人権尊重・事故防止・サービスの質向上 接遇改善・職員育成
	2月	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策
	3月	ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	コンプライアンス

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
平均登録者数	44.2名	39.3名	▲0.8
収入（千円） 処遇改善除く	89,099	74,915	▲14,184

事業報告	達成	・シェモア入居者のサンリンクへの移行 ・サービス体制強化加算取得 ・随時コール内容・時間の精査と定期訪問への組み込み
	未達成	・他部署との情報共有システムの確立 ・地域の登録者増加（R4.4月から増減繰り返しR5.3月地域登録者数+2であった）
経費削減取組		・訪問スケジュールを随時見直し、ガソリン代の節約に努めた ・手袋・クイックルワイパー等、消耗品の無駄遣い防止 ・時間外勤務の削減
その他		

令和4年度　事業報告書

部署名	住宅型有料 老人ホーム シェモアゆうわ	記載 責任者	原　貴史

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

七夕飾り作成
敬老会

②運営活動報告

	【施設内研修】		担当委員会
職員の資質 向上取組 （施設内研修・ 施設外研修）	4月	褥瘡予防について（eラーニング） 徐予防のための状況別ポジショニング	感染対策・褥瘡対策
	5月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（前	感染対策・褥瘡対策
	6月	新型コロナウイルス感染症対策について 模擬演習から学ぶ高齢者施設等のクラスター対策（後	感染対策・褥瘡対策
	7月	身体拘束の基礎知識（ｅラーニング） 高齢者の転倒予防（ｅラーニング）	人権尊重・事故防止 サービスの質の向上
	8月	感染拡大防止のため実施せず	
	9月		
	10月		
	11月	クレーム・苦情対応（ｅラーニング） 不適切ケアと虐待（eラーニング）	接遇改善・職員育成 コンプライアンス
	12月	褥瘡発生のメカニズム（eラーニング） 事故発生後の対応（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策 人権尊重・事故防止・サービスの質向上
	1月	虐待・不適切ケアを防ぐ（eラーニング） 介護現場の接遇とは（eラーニング）	人権尊重・事故防止・サービスの質向上 接遇改善・職員育成
	2月	インフルエンザ・ノロウィルス対応（eラーニング） 感染対策において求められるもの（eラーニング）	感染対策・褥瘡対策
	3月	ことばの影響（eラーニング） 個人情報の取り扱い（eラーニング）	コンプライアンス

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（入居者数）	平均入居者数16.5名（満床18名）	平均入居者数15.7名（満床18名）	▲0.8
収入（千円） 処遇改善除く	25,423	22,549	▲2,874

事業報告	達成	・毎朝の朝礼、理念・四訓の唱和 ・令和4年度看取り8件数 ・効率的な運営方法として定期巡回登録者をサンリンクへ移行
	未達成	・他部署との情報共有システムの確立 ・事業所間の隔たりの排除と臨機応変な人員配置
経費削減取組		・不要な電気・エアコン等のON・OFF ・デマンド警報を活用した徹底したデマンド管理体制の確立 ・手袋・クイックルワイパー等、消耗品の無駄遣い防止
その他		

令和4年度　事業報告書

部署名	カフェ･ド･ミュールブラン	記載責任者	加藤美由紀

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

②運営活動報告

		【施設内研修】	【施設外研修】	
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	10月			
	11月			
	12月	褥瘡発生原理・事故発生後の対応（eラーニング）		
	1月	虐待・不適切ケアを防ぐ・介護現場の接遇について（eラーニング）		
	2月	インフルエンザ・ノロウイルス他感染対応（eラーニング）		
	3月	言葉の影響・個人情報の取り扱いについて（eラーニング）		

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	2,310,000	1,069,260	▲1,240,740
収入（千円）処遇改善除く			

事業報告	達成	１０月４日オープン 広報 　地域の方やスタッフの近所の方へ手作りのカフェのチラシの配布（ポステイング） 　職員・ご利用者様へカフェ・オープンの発信 　１２月からインスタグラムにて情報発信
	未達成	目標の収入を上げることができなかった。 カフェの存在を知らない方がまだまだ多いので広報活動を継続していく 来客数・客単価アップにつながる人気メニュー考案
経費削減取組		カフェメニューの食材はアレンジできるもの使って食材ロス防止 食器のは最低限度にした ポステイングのチラシは手作りした できる限り作り置きをせず、処分を防いだ
その他		７月～オープンに向けて藤原シェフ様・寺西珈琲様・取引業者さん等カフェ運営にかかるレクチャー アドバイスをいただき試食会を行った。 ９月２６日　プレオープン １０月４日オープン １２月１２日　クリスマス会食 Ｒ５年１月トライアングル取材（３月号掲載）

令和4年度　事業報告書

部署名	ゆうわ訪問看護ステーション	記載責任者	守友弘美

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

報告事項なし

②運営活動報告

	【施設内研修】	【施設外研修】
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）		R6.4.25　新型コロナウイルス感染症対策圏域会議
	訪問の都合上受講は困難でした	R6.4.27　高齢者施設等における感染制御と業務継続 R6.6.15　第１９５回情報交換会（ZOOMミーティング） R6.6.30　訪問看護ステーション情報交換会 R4.8.27　新型コロナウイルス感染症：訪問看護支援体制 R4.10.12　第5回神経難病連携を考える会 R4.10.15　地域医療研修会（第17回訪問看護ステーション情報交換会） R4.11.10　腹膜透析：テルモPDセミナー R4.12.22　難病研修会（NHO柳井・柳井封建センター）） R4.12.26　難病従事者基礎研修会（山口大学）

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）	平均登録者数54人	平均登録者数43.7人	▲10.3人
収入（千円）処遇改善除く	69,092	56,077	▲13,015

事業報告	達成	訪問看護の展開をシェモア入居者に重点を置き実施した。加算の取りこぼしをなくすために、看護師の訪問実績の入力を確実に行い、かつ事務員のダブルチェックをすることで漏れが少なくなり、売り上げ増につながった。ホスピタリティを大切にしたケアの充実に努め、ターミナルケアの利用者は1年でサンリンク１０名、在宅６名であった。医療機関との関係性は築けている。
	未達成	１．看護師の相次ぐ辞職に伴い　安定した経営につながらなかった。登録数目標に届いていない。 ２．広報活動ができなかった。 ３．サンリンクと本部にステーションがあることで十分な情報共有ができなかった。
経費削減取組		ガソリン代節約を考えた訪問スケジュール計画 医療ケアに必要な物品は基本、医療機関からの提供のため常備品はなくした。
その他		１・サンリンク：毎月勉強会：ターミナルケア・経費節減 ２．山口県看護協会主催訪問看護ステップ１カリキュラム実習生１名受け入れ（実習２日）

令和4年度　事業報告書

部署名	ゆうわ総合在宅サポートセンター地域交流スペース	記載責任者	冨田　素弘

〇総合相談事業　相談件数：19件

〇健康づくり講座　全37回開催，延べ参加者数204名

回	開催日			講座名	参加者
1	7月	5日	火	私の体は元気なの　納得健康測定	8
2		7日	木	私の体は元気なの　納得健康測定	6
3		12日	火	気になる認知症のこと	2
4		14日	木	気になる認知症のこと	4
5		19日	火	介護保険のいろは	8
6		21日	木	気を付けて食事のポイント	0
7		26日	火	元気なからだづくり健康体操を体験	8
8		28日	木	元気なからだづくり健康体操を体験	1
9	8月	2日	火	こんな時に施設を使おう	10
10		9日	火	気を付けて食事のポイント	9
11		23日	火	いざというときに助かる看護	9
12		30日	火	健康づくり体操	8
13	9月	6日	火	介護保険のいろは1	7
14		13日	火	介護保険のいろは2	6
15		15日	木	介護保険のいろは3	6
16		20日	火	介護保険のいろは4	7
17		27日	火	認知症って何だろう	6
18		11日	火	嚥下障害とは？誤嚥性肺炎を予防しよう	5
19	10月	25日	火	在宅で生活するということ	5
20		27日	木	施設で生活するということ	4
21	11月	2日	火	もしもの時を考える	3
22		9日	火	自分の最期を考えてみよう	4
23		16日	火	80歳からの「人生のすすめ」	5
24	12月	1日	木	身体を動かそう　体操教室	3
25		8日	木	薬のQ＆A～きたに薬局　木谷佳行様	12
26		15日	木	80歳からの「医療・健康」のコツ	4
27		22日	木	80歳からの「食事」のコツ	4
28	1月	12日	木	リフレーミングとは	6
29		26日	木	80歳からの「行動」のコツ	5
30	2月	2日	木	80歳からの「脳の老化予防」のコツ	6
31		9日	木	オーラルフレイルについて	8
32		16日	木	健康体操/アンガーマネジメントについて	5
33	3月	2日	木	住宅改修と福祉用具を利用しましょう	5
34		9日	木	健康体操	4
35		16日	木	「スマホ認知症」と呼ばれている症状を知っていますか？	4
36		23日	木	認知症を考えてみよう	4
37		30日	木	「高齢者の介護」と「夏場の対応」について	3
					204

令和4年度　事業報告書

部署名	栄養管理課	記載責任者	轟　章代

①利用者サービス（各行事、レクリエーションなど）

◎行事食提供　（お誕生会食・七夕・敬老会・クリスマス・お正月御膳・節分・ひな祭り・創立記念日・お花見弁当）

◎利用者・各部署との交流

<老健>　〇おやつ作り：お花見団子（4/20）和菓子（6/16）牛乳プリン（6月）冷麺（6月）アイスクリーム（8月）ロールケーキ（8月）パン食い競争（10/10）パフェ（10/21）ハロウィン（10/31）カップケーキ（12/23）ケーキバイキング（12/23.24.25）チョコタルト（2/11）フルーフェ（3/4）

<ケアハウス・デイサービス>　〇おやつ作り：香煎団子（4/13））桜餅（4/30）プリン（5/23）抹茶とあんこの羊羹（5/18）おはぎ（5/26）七夕ゼリー（7/7）かき氷（8/25）豆乳団子（9/13）スイートポテト（9/28）サツマイモお月様（10/13）南瓜ぜんざい（10/31）みかんクレープロールつくり（11/3）プリンパフェ（11/25）フルーツヨーグルトゼリー（12/6）バレンタインチョコ（2/14）桃ミルクプリン（3/14））桜餅（3/3）

<シンシア>　〇おやつ作り：どら焼き（5/13）クレープ（5/4,6）フレンチトースト（9/15）いも餅（9/15・2/22）スイートポテト（10/12）ごま団子・団子パフェ（10/11・3/2,3）ババロア（11/22）林檎ケーキ（11/9）クリスマスケーキ（12/21～23）クッキー（1/25）おしるこ・ぜんざい（1/19,20,30）ドーナツ（2/14）

②運営活動報告

	【施設内研修】		【施設外研修】
職員の資質向上取組（施設内研修・施設外研修）	〇全体研修 <老健・ケアハウス・サンリンク>	<シンシア>	
	4月　褥瘡予防・状況別ポジショニング等の対応（eラーニング）	身体拘束・事故防止	
	5月　新型コロナウイルス感染対策について・クラスター（前半）	看取り・介護保険	
	6月　身体拘束基礎知識・高齢者転倒予防について（eラーニング）	苦情対応・食中毒予防	
	7月　苦情対応・不適切ケアと虐待について（eラーニング）	高齢者虐待防止・褥瘡予防	
	8月　7月岩本恵美講師経口維持加算等勉強会	自己学習	
	9月	ユニットケア・腰痛対策	
	10月	感染予防	
	11月	ハラスメント対策	
	12月　褥瘡発生原理・事故発生後の対応（eラーニング）	事故防止・認知症理解	
	1月　虐待・不適切ケアを防ぐ・介護現場の接遇について（eラーニング）	身体拘束・介護技術	
	2月　インフルエンザ・ノロウイルス他感染対応（eラーニング）	成果発表会	
	3月　言葉の影響・個人情報の取り扱いについて（eラーニング）	高齢者虐待防止・苦情対応	

	予算	実績	差異△ﾌﾟﾗｽ▲ﾏｲﾅｽ
稼働率（登録数）			
収入（千円）処遇改善除く			

事業報告	達成	①経口維持加算の勉強会の実施 ・外部講師を招いて、多職種参加型の勉強会を開催し、意見交換を行うことができた。 ②配食サービス ・今年度もコロナ禍での安全な配食提供が継続実施できた。
	未達成	①加算の取得 ・老健では療養食加算、シンシアでは経口維持加算を対象者に応じて算定中であるが、老健の経口維持加算と老健シンシアとも栄養マネジメント強化加算の算定は行えていない。算定に向け体制の整備が必要。
経費削減取組		〇水光熱費削減…職員各自の意識を高め、必要・不必要の判断をし、細目にできることを行った。 〇食材費…業者との見積をとり、価格交渉を行い少しでも安くて良いものを納品するように交渉を行った。納品もケース単位で納品する代わりに、1つ当たりの単価を下げてもらうように交渉し、価格が下がらない業者は、納品せず、違う業者へ変更した。
その他		〇集団給食施設一斉点検… 〇新型コロナウイルス対策…基本的な感染予防対策の継続し、発生時は使い捨て容器にて対応して施設内のまん延防止に努めた。